

# サッカーの試合におけるセカンドボール奪取率と勝敗との関係性について

## ーポゼッション・フットボールに着目してー

高嶋 紳也 (競技スポーツ学科 スポーツコーチングコース)

指導教員 松田 保

キーワード：セカンドボール ポゼッション・フットボール 奪取率

### 1. 緒言

サッカーの戦術は常に進化している。現在の最先端の戦術は「ポゼッション・フットボール」であると言える。

サッカーには、ボールを失う・奪われることがある。失った際のこぼれたどちらのチームも保持していないボールのことを「セカンドボール」と呼ぶ。

この「セカンドボール」を拾うことにより、波状攻撃をすることが可能になり得点を取るチャンスが増え勝敗に大きく影響すると言える。本研究では、ポゼッション・フットボールの中でこのセカンドボールを拾うことによって起きる様々な影響を調査し、それが勝敗にどのように関係しているのかを明らかにすることを目的とする。

### 2. 研究方法

VTR 分析を行う。分析内容はサッカーコートを三分割し相手のゴールに近いエリアを攻撃ゾーン、真ん中のエリアを中盤ゾーン、自陣のゴールに近いエリアを守備ゾーンとし各ゾーンで対戦する2チームごとに、セカンドボールを奪取した位置をシートに記す。

研究対象は、EURO2012 欧州選手権の決勝トーナメント7試合を対象とする。

### 3. 結果と考察

今大会で優勝したスペインは各ゾーンでの奪取率が全体の平均以上であった。これは奪取率重要性を示したと言える。

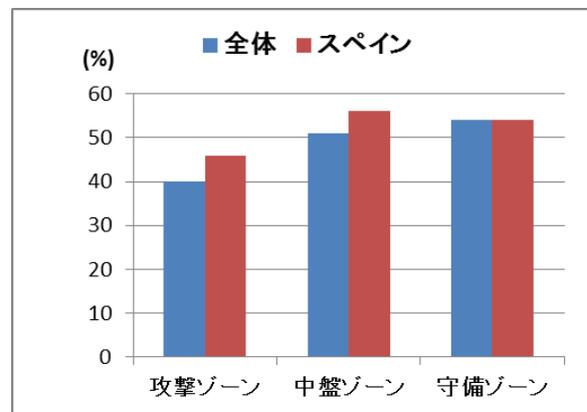


図1 各ゾーンでの平均奪取率

### 4. まとめ

奪取率を高めるには、スペインのようなコンパクトでショートパスや効果的なサイドチェンジを多用し人数をかけて攻めるのが理想である。

#### 【引用参考文献】

- 1) 西部 謙司 サッカー戦術クロニクル (2008) トータルフットボールとは何か? 株式会社カンゼン